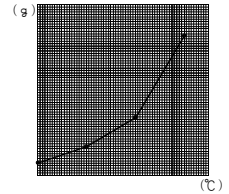
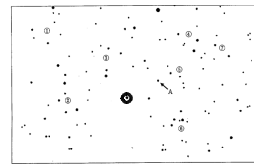


解 答

- 〔1〕 (1) ア 本葉 イ 茎 ウ 子葉 (2) エ (3) エ (4) イ (5) エ
 〔2〕 ア, イ, ウ
 〔3〕 (1) □ 二酸化炭素 △ 水蒸気 (2) 気管 (3) B (4) B ア C ア
 〔4〕 (1) × (2) ○ (3) × (4) ○ (5) ○ (6) ○
 〔5〕 (1) ア, エ, カ (2) ア, エ
 〔6〕 (1) ウ (2) ⑥ (3) 右図 (4) ク
 〔7〕 (1) 右グラフ (2) 5.0 (3) 14.4
 (4) ① 水が蒸発したから。 ② 25.8
 〔8〕 ① 鉄を入れた後の全体の重さをはかる
 ② 重さが変化しない
 ③ 軽くなる
 〔9〕 (1) ア, カ (2) ウ
 〔10〕 (1) カ (2) ア, ウ (3) カ (4) オ (5) ウ
 〔11〕



	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
方法1			3					
方法2			2	1				
方法3		3	2	1				
方法4	1	1			1			

解 説

- 〔2〕 カブトムシがふよう土の中に卵を産む、はねのあるショウリョウバッタが見られる、アブラゼミの幼虫が土の中から出てくるのはいずれも夏です。
 〔5〕 (1) 月は太陽の光が当たっている部分が明るく見えるので、月が太陽の西にあるとき、月は左側が明るく見えます。
 〔7〕 (1) グラフは縦横どちらも目盛りが70まであります。水温の最大が60℃、とけたミョウバンの重さが28.7gなので、水温を示す横軸は1目盛り1℃、ミョウバンの重さは1目盛り0.5gとしてグラフをかきます。
 (3) 表から、20℃の水50mlにはミョウバンが5.6gまでとれることがわかるので、出てきた結晶の重さは14.4g (20.0 - 5.6) です。
 (4) ミョウバン30gを溶かしたあとのビーカーの中身は130g (100 + 30) になるので、蒸発した水は25g (130 - 105) です。ここから、ビーカーには20℃の水が75g (100 - 25) があることがわかります。20℃の水が75gにとかすことができるミョウバンは4.2g ($5.6 \times \frac{75}{100}$) なので、ビーカー内、ビーカー内の結晶は25.8g (30 - 4.2) です。
 〔11〕 支点の左右で、「支点からの距離×おもりの重さ」の値が等しくなっているとき、てこは水平につり合います。この実験の場合、てこを水平につり合わせる方法は全部で5通りあります。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
方法1			3					
方法2			2	1				
方法3		3	2	1				
方法4	1	1			1			
方法5	2					1		